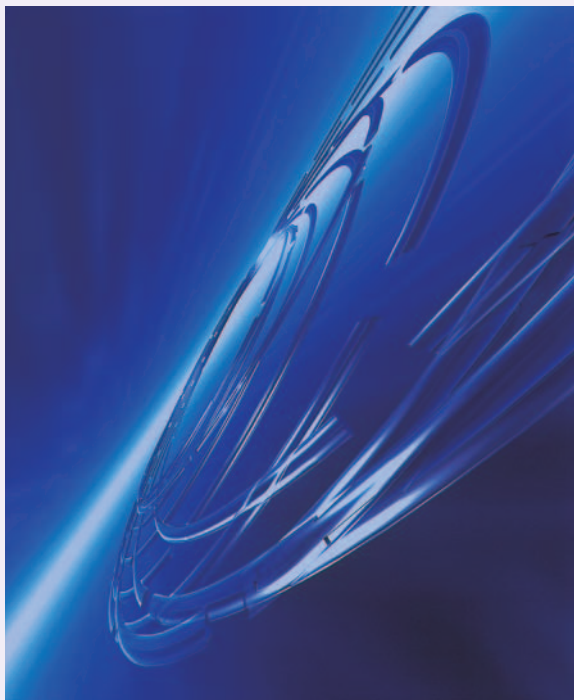




株式会社 **ニコン**

第141期 事業報告書

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

6月29日の定時株主総会において別添の決議通知に記載のとおり新役員が選任され、新陣容で経営を担当することとなりましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

当期におけるわが国経済は、期後半に減速の兆しがみられたものの、民間設備投資が増加傾向を示すなか、個人消費も緩やかながら増加するなど、総じて回復基調にありました。

米国経済は、個人消費や設備投資の増加に加え企業の業績拡大もあり、好調に推移しました。欧州経済は、英国を除いて総じて停滞しました。アジア経済は、中国を中心に拡大を続けました。

当社グループの事業分野においては、精機及びインストルメンツ事業に関しては、半導体市況の回復や液晶市況の拡大に伴い、設備投資は活発化しました。映像事業に関しては、デジタルカメラ市場が拡大を維持しました。

このような状況の下で、当社グループは、業績の回復を実現するために、市場の上昇局面を確実に捉え、デジタルカメラや液晶用露光装置などを中心に積極的な拡販に努めるとともに、競争力のある新製品の開発を行うなど既存事業のより一層の拡大・強化を図る一方、新規事業の開拓・育成にも取り組みました。また、財務体質の改善のため、棚卸資産の削減、売上債権の圧縮による有利子負債の削減にグループを挙げて尽力しました。さらに、業務プロセスを変革し、事業活動のさらなる迅速化・効率化を図り、事業環境の変化を的確に把握し対応できる仕組みを構築することにより、連結経営力の強化に努めてまいりました。

これらの結果、当社グループの連結売上高は6,384億68百万円、前期比1,320億90百万円の増加となり、連結経常利益は146億93百万円（前期は42億80百万円の経常損失）となりました。また、ASML Holding N.V. などからの特許紛争の和解金145百万米ドル（15,878百万円）を特別利益に計上しました結果、連結当期純利益は241億41百万円、前期比217億31百万円の増加となりました。

今後につきましては、米国経済及びアジア経済は、引き続き堅調な推移が見込まれ、わが国経済も緩やかながら回復傾向が持

続するものと思われま。一方、欧州経済は依然として先行きの不透明感が拭えません。

当社グループの事業分野に関しては、デジタルカメラ市場は、コンパクトデジタルカメラ市場において一層の価格競争の激化は見込まれるものの、特にデジタル一眼レフカメラ市場の大きな伸びが期待されるなど、総じて拡大傾向が続くと思われま。一方、半導体関連市況・液晶パネル関連市況は、先端分野では関連メーカー各社の積極的な設備投資の動向が見られるものの、全般としては不透明な部分もあり、当社グループとして慎重に経営環境を注視してまいる必要があると考えま。

当社グループといたしましては、このような状況において、既存事業での競争力のある新製品の開発及び市場投入により販売の拡大を図るとともに、グループを挙げて新規事業の発掘に取り組み、有望な事業に対する集中的な経営資源の投入によりその育成を図ってまいます。また、引き続き工期短縮による棚卸資産の削減やコストダウンを徹底するとともに、売上債権の圧縮、有利子負債の削減に努めるなど、キャッシュ・フローを重視した連結経営を推し進め、さらにワールドワイドの情報を的確に集約し迅速な施策展開に努めてまいます。これらの施策により、収益力を強化するとともに財務体質の改善を図り、より一層の業績の向上に邁進する所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月



取締役社長兼CEO兼COO

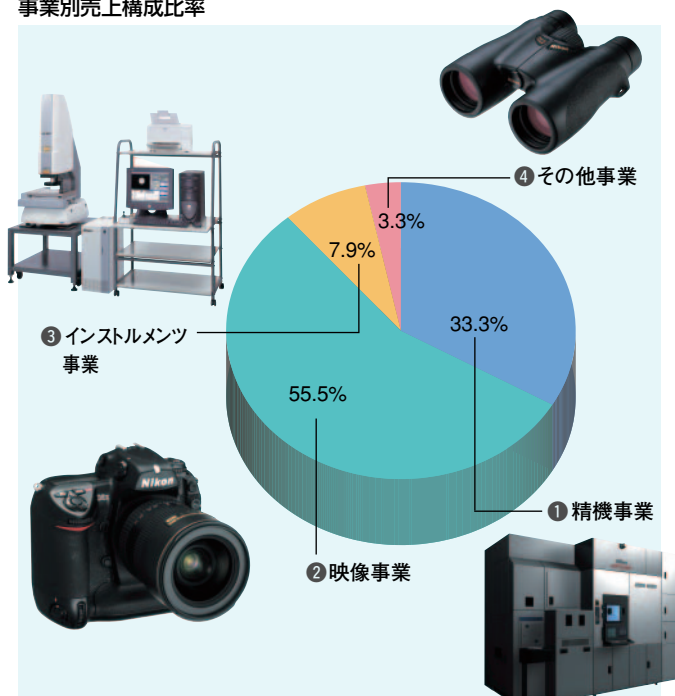
荻谷道郎

# 当社グループの 事業別売上高/売上高の推移

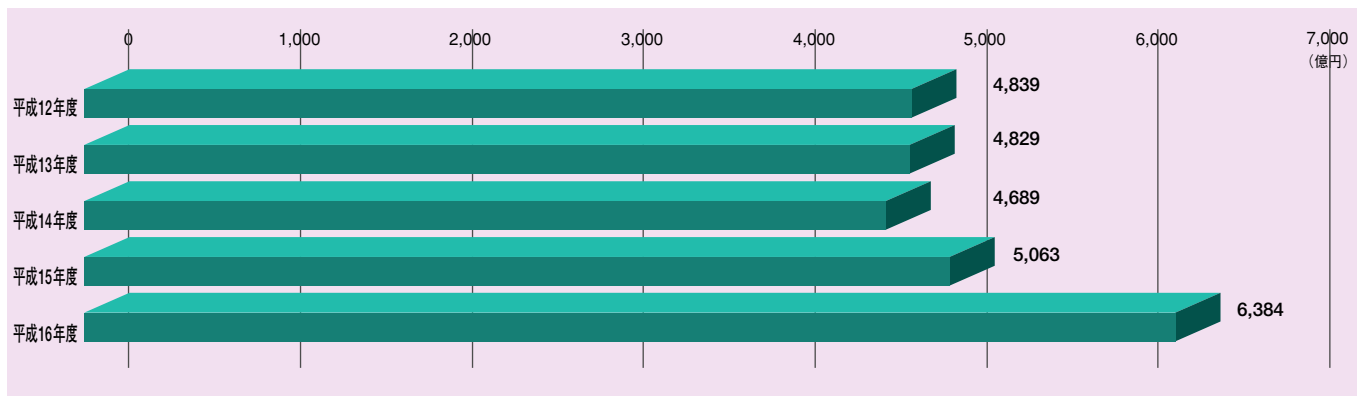
## ●第141期事業別連結売上高

事業	主要製品	連結売上高 百万円	構成比 %	前期比 %
① 精機事業	縮小投影型露光装置 液晶用露光装置	212,470	33.3	135.7
② 映像事業	デジタル一眼レフカメラ コンパクトデジタルカメラ 交換レンズ フィルムカメラ フィルムスキャナ	354,181	55.5	125.0
③ インストルメンツ事業	生物顕微鏡 工業用顕微鏡 測定機器 半導体検査機器	50,657	7.9	108.5
④ その他事業	特注機器 望遠鏡 フレーム・サングラス	21,159	3.3	107.1
計		638,468	100.0	126.1

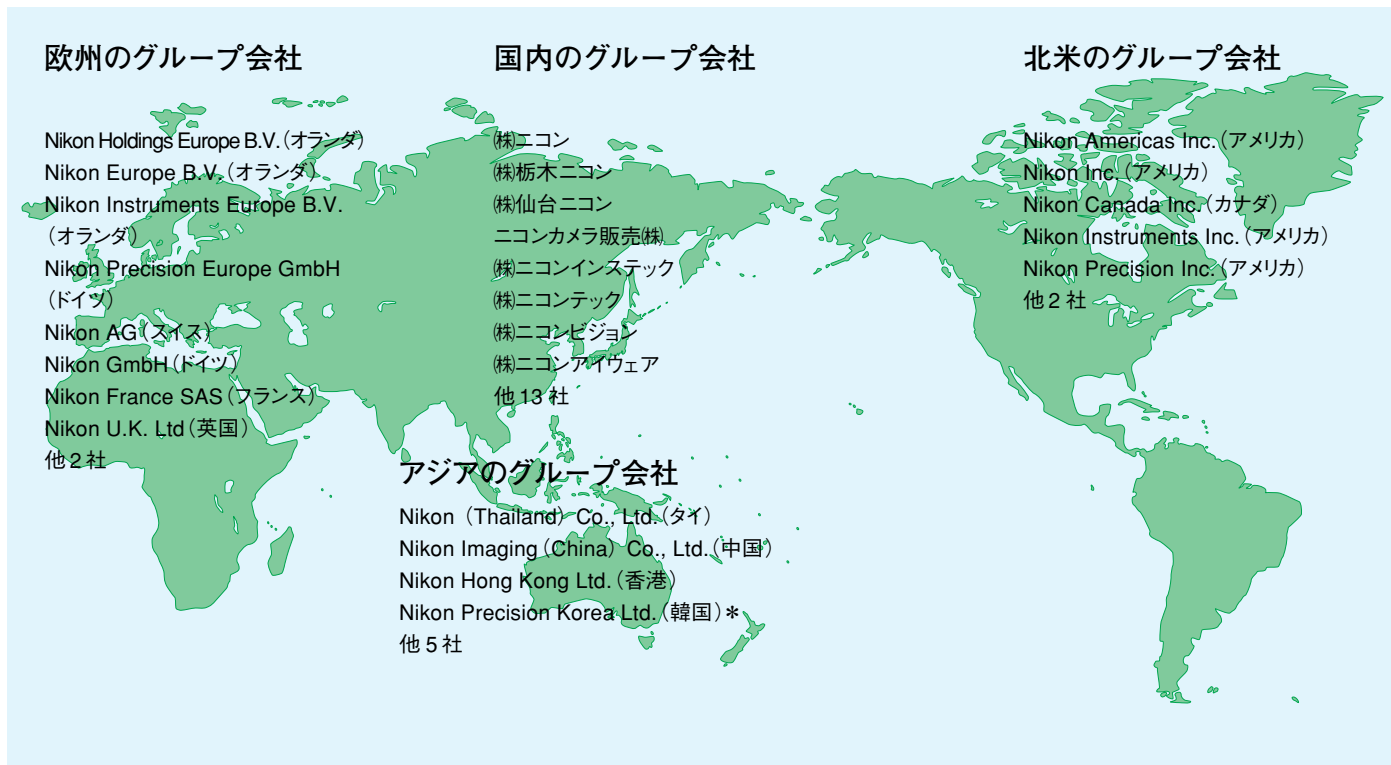
## 事業別売上構成比率



## ●連結売上高の推移



# 当社グループの概要



## 精機事業

パソコン、携帯電話をはじめとする各種情報機器へ搭載される半導体の生産に欠かせない縮小投影型露光装置や、ノートパソコンや薄型テレビなどに使用される液晶パネルの生産を支える液晶用露光装置など、光利用技術及び精密技術を核とした、最先端の商品・サービスを提供しています。

## 映像事業

プロ仕様から初心者向けまでラインアップを取り揃えたデジタル一眼レフカメラや、高性能で使いやすいコンパクトデジタルカメラのCOOLPIXシリーズ、フィルム愛好家のニーズに応えるフィルムカメラ、一眼レフカメラに使用する交換レンズなど、映像関連商品や、その周辺領域の商品・サービスを提供しています。

## インストルメンツ事業

バイオテクノロジー研究やLSI検査などを支える生物顕微鏡・工業用顕微鏡、精密機械部品や半導体関連などで使用される高精度測定・検査機器など、最新のデジタル技術と伝統の光学技術を融合した商品・サービスを提供しています。

## その他事業

宇宙関連製品をはじめとする特注機器を扱うカスタムプロダクツ事業、各種双眼鏡やレーザー距離計などを扱う(株)ニコンビジョンの望遠鏡事業、フレーム・サングラスを扱う(株)ニコンアイウェアのフレーム・サングラス事業などがあります。

## 映像関連商品が国内外で賞を受賞



フィルム一眼レフカメラ「F6」が、正確な測光システム、高性能オートフォーカス、見やすくキレの良いファインダーなど基本性能の高さを評価され、欧州を代表する権威ある写真・映像関連の賞「TIPA ベスト35mm一眼レフカメラ2005」を受賞しました。また、コンパクトデジタルカメラ「COOLPIX7900」及び一眼レフカメラ用交換レンズ「AF-S VR ニッコールED200mm F2G (IF)」も、それぞれ「TIPA ベストデジタルコンパクトカメラ2005」、「TIPA ベストプロフェッショナルレンズ2005」を受賞しました。



さらに「F6」は国内でも、基本性能の高さに加え、質感や操作音へのこだわりなどが写真を撮る楽しさを再認識させてくれるとして評価され、「カメラグランプリ 2005 カメラ記者クラブ特別賞」を受賞しました。



## ステッパーNSRシリーズ7,000台販売達成

ニコンは、昭和55年に国産初のステッパーを発売してから四半世紀となります平成16年に、ステッパーNSRシリーズの累計販売台数7,000台を達成しました。ニコンのステッパーNSRシリーズは、世界でもっとも多く稼動するステッパーとして、飛躍的に増加する半導体生産を支えています。

今後ともニコンは、ステッパーに要求される最先端の光学テクノロジーと超精密テクノロジーの

研究開発を続け、ステッパーのトップ企業として、最先端のステッパーを世界の半導体メーカーに供給していきます。



NSR7,000台販売達成記念植樹

## 液晶ステッパー生産施設増床実施

液晶ステッパーの主力生産拠点である横浜製作所に加え、平成16年10月、横浜製作所横須賀分室を開所し、液晶ステッパー生産施設の増床を行いました。

この横須賀分室は、需要の高まる液晶ステッパーの増産に

対応するものであります。



## Nikon Instruments Korea Co., Ltd. を韓国に設立

顕微鏡、測定機などインストルメント製品の韓国における販売、マーケティング及びアフターサービスを行う会社として韓国ソウル市に設立した「Nikon Instruments Korea Co., Ltd.」は、本年4月より営業を開始しました。

平成15年に中国上海に設立した「Nikon Instruments Shanghai Co., Ltd.」同様、アジアにおける販売力の強化と、より一層お客様にご満足いただけるようなサービスの提供を目指してまいります。

# New Products

## 新製品紹介



研究用倒立顕微鏡「ECLIPSE TE2000E」に装着

### ① 縮小投影型露光装置 NSR-S308F

N.A. (開口数=レンズの明るさ)0.92という超高性能の縮小投影レンズの搭載により、65ナノメートル以下のデバイス量産に対応したArF(フッ化アルゴン)エキシマステッパー。アライメント精度とスループット性能も、新開発ボディの採用により各段に向上しています。

### ② 液晶ディスプレイ用露光装置 FX-71S/81S

一回の走査露光で最大57インチワイドパネルの露光を可能とした液晶ディスプレイ用の露光装置。11本の投影レンズで構成された新開発のマルチレンズ投影光学系の搭載により

スループットを飛躍的に向上させ、「FX-71S」では、48型ワイドパネルで毎時294枚、また、「FX-81S」では52型ワイドパネルで毎時240枚の焼き付けを達成しました。

### ③ デジタル一眼レフカメラ D50

初心者にも使いやすい操作性、持ちやすい小型軽量ボディのデジタル一眼レフカメラのエントリーモデル。子どもの写真がきれいに写せる「子どもスナップモード」を含む7つのデジタルイメージプログラムを搭載し、有効画素数6.1メガピクセルCCD及び新開発の画像信号処理エンジンによりクリアーで美しい画像が得られます。

### ④ コンパクトデジタル カメラ COOLPIX S1

スリムでスタイリッシュなデザインに大型液晶モニターを搭載したコンパクトデジタルカメラ。自動的に画面内の人物の顔を検知してピントを合わせる機能やフラッシュ撮影時に赤目現象を軽減する機能、暗く映った部分だけを明るく補正する機能など、人物をより美しく撮るための「フェイスクリアー機能」を搭載しています。

### ⑤ リアルスペクトルイメージング蛍光レーザー顕微鏡システム「C1si」

標本の内部を高コントラストな画像として観察できる蛍光レーザー顕微鏡。新機能「スペクトル

イメージング」の採用により、従来不可能だった近接した蛍光を分離することが可能です。また、感度・機能・速度といった基本性能も大幅に向上しました。

### ⑥ ニコン携帯型レーザー距離計 「レーザー 800S」

簡単操作で瞬時に目標までの距離を測定できるレーザー距離計。ゴルフでの使用に最適な「近距離優先モード」と簡易測量時に便利な「遠距離優先モード」の2つの測距モードを選択でき、状況に合わせた測距を可能とするとともに、800ヤード(730m)までの距離測定を実現しました。

## 連結貸借対照表 (平成17年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>431,126</b>	<b>流動負債</b>	<b>266,102</b>
現金及び預金	21,943	支払手形及び買掛金	135,880
受取手形及び売掛金	125,107	短期借入金	45,205
たな卸資産	245,623	未払費用	34,351
繰延税金資産	25,629	未払法人税等	14,705
その他	15,558	製品保証引当金	5,305
貸倒引当金	△2,735	その他	30,654
<b>固定資産</b>	<b>202,300</b>	<b>固定負債</b>	<b>171,108</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>109,789</b>	社債	145,500
建物及び構築物	39,986	長期借入金	4,633
機械装置及び運搬具	33,041	退職給付引当金	18,691
土地	16,288	役員退職慰労引当金	1,035
建設仮勘定	7,710	その他	1,248
その他	12,761	<b>負債合計</b>	<b>437,210</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>10,901</b>	<b>少数株主持分</b>	
ソフトウェア等	10,669	少数株主持分	185
連結調整勘定	232		
<b>投資その他の資産</b>	<b>81,608</b>	<b>資本の部</b>	
投資有価証券	62,244	資本金	36,660
繰延税金資産	9,791	資本剰余金	51,930
その他	9,682	利益剰余金	104,478
貸倒引当金	△109	その他有価証券評価差額金	7,297
		為替換算調整勘定	△3,812
		自己株式	△524
		<b>資本合計</b>	<b>196,030</b>
<b>資産合計</b>	<b>633,426</b>	<b>負債・少数株主持分及び資本合計</b>	<b>633,426</b>

(注) 当年度末の連結子法人等は46社、持分法適用会社は2社であります。

## 連結損益計算書 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額	
<b>(経常損益の部)</b>		
<b>営業損益の部</b>		
営業収益		
売上高		638,468
営業費用		
売上原価	429,143	
販売費及び一般管理費	178,780	607,923
営業利益		30,545
<b>営業外損益の部</b>		
営業外収益		
受取利息	277	
受取配当金	684	
持分法による投資利益	1,059	
その他の営業外収益	2,766	4,788
営業外費用		
支払利息	2,160	
たな卸資産解体処分損	6,190	
たな卸資産評価減	3,815	
現金支払割戻金	4,211	
その他の営業外費用	4,262	20,640
経常利益		14,693
<b>(特別損益の部)</b>		
特別利益		
固定資産売却益	6,062	
投資有価証券売却益	437	
特許訴訟和解金収入	15,878	22,379
特別損失		
固定資産除却損	2,218	
固定資産売却損	16	
投資有価証券売却損	11	
投資有価証券評価損	320	
過年度役員等退職慰労引当金繰入額	982	
その他の特別損失	80	3,629
税金等調整前当期純利益		33,443
法人税、住民税及び事業税	15,994	
法人税等調整額	△6,706	9,288
少数株主利益		13
当期純利益		24,141

# 貸借対照表 (平成17年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債及び資本の部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>348,020</b>	<b>(負債の部)</b>	<b>362,525</b>
現金預金	8,996	流動負債	197,177
受取手形	2,072	支払手形	872
売掛金	113,584	買掛金	112,733
製品	57,386	短期借入金	28,600
半製品	395	一年内返済長期借入金	4,807
原材料	40	未払設備工事代	4,040
仕掛品	93,812	未払費用	14,773
貯蔵品	3,254	未払法人税等	11,001
繰延税金資産	13,982	前受金	7,389
関係会社短期貸付金	37,570	預り金	8,087
未収入金	17,586	製品保証引当金	3,504
その他の流動資産	1,552	その他の流動負債	1,368
貸倒引当金	△2,215		
<b>固定資産</b>	<b>180,086</b>	<b>固定負債</b>	<b>165,348</b>
有形固定資産	67,713	社債	145,500
建物	20,132	長期借入金	744
構築物	961	退職給付引当金	17,315
機械装置	23,485	役員退職慰労引当金	1,003
車輛運搬具	96	その他の固定負債	786
工具器具備品	7,010		
土地	10,038	<b>(資本の部)</b>	<b>165,581</b>
建設仮勘定	5,988	資本金	36,660
無形固定資産	7,924	資本剰余金	51,930
特許権	2,962	資本準備金	51,926
借地権	4	その他資本剰余金	4
商標権	147	自己株式処分差益	4
ソフトウェア	4,666	利益剰余金	70,244
施設利用権その他	143	利益準備金	5,565
投資その他の資産	104,448	任意積立金	43,462
投資有価証券	54,727	研究積立金	2,056
関係会社株式	25,817	退職慰労積立金	669
出資金	2	特別償却準備金	4
関係会社出資金	5,526	買換資産圧縮積立金	9,362
従業員長期貸付金	52	圧縮未決算積立金	1,160
長期前払費用	191	別途積立金	30,211
長期繰延税金資産	11,202	当期末処分利益	21,216
敷金その他	7,003		
貸倒引当金	△74	その他有価証券評価差額金	7,269
		自己株式	△524
<b>資産合計</b>	<b>528,107</b>	<b>負債及び資本合計</b>	<b>528,107</b>

# 損益計算書 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額	
<b>(経常損益の部)</b>		
<b>営業損益の部</b>		
営業収益		
売上高		477,324
営業費用		
売上原価	388,395	
販売費及び一般管理費	78,448	466,844
営業利益		10,480
<b>営業外損益の部</b>		
営業外収益		
受取利息・配当金	6,513	
その他の営業外収益	4,355	10,868
営業外費用		
支払利息	1,367	
その他の営業外費用	11,738	13,105
経常利益		8,244
<b>(特別損益の部)</b>		
特別利益		
固定資産売却益	6,028	
投資有価証券売却益	422	
特許訴訟和解金収入	15,878	22,330
特別損失		
固定資産除却損	1,645	
固定資産売却損	3	
投資有価証券評価損	261	
貸倒引当金繰入額	60	
関係会社貸付金貸倒引当金繰入額	1,383	
関係会社債権償却損	400	
ゴルフ会員権償却損	20	
過年度役員等退職慰労引当金繰入額	974	4,748
税引前当期純利益		25,826
法人税・住民税及び事業税	12,099	
法人税等調整額	△3,038	9,061
当期純利益		16,765
前期繰越利益		5,928
中間配当額		1,477
当期末処分利益		21,216



## 利益処分

(単位:円)

摘要	金額
当期末処分利益の処分	
当期末処分利益	21,216,483,811
退職慰労積立金取崩額	669,100,000
特別償却準備金取崩額	4,070,088
買換資産圧縮積立金取崩額	1,410,824,107
圧縮未決算積立金取崩額	1,160,424,796
計	24,460,902,802
これを次のとおり処分いたします。	
株主配当金(1株につき4円)	1,477,844,608
役員賞与金 (うち監査役分)	62,600,000 (5,300,000)
買換資産圧縮積立金	1,183,228,972
圧縮未決算積立金	1,674,881,745
別途積立金	10,000,000,000
次期繰越利益	10,062,347,477
その他資本剰余金の処分	
その他資本剰余金	4,175,781
自己株式処分差益	4,175,781
これを次のとおり処分いたします。	
その他資本剰余金次期繰越高	4,175,781
自己株式処分差益	4,175,781

(注)平成16年12月10日に1,477,122,340円(1株につき4円)の中間配当を実施いたしました。

## 会社の概況

■商号……………株式会社ニコン

英文 NIKON CORPORATION

■本店所在地…東京都千代田区丸の内3丁目2番3号

■設立……………大正6年7月25日

■資本金……………366億60百万円(平成17年3月31日現在)

■従業員数………5,724名(平成17年3月31日現在)

■役員及び執行役員 (平成17年6月29日現在)

取締役社長兼CEO兼COO…荻谷道郎	常勤監査役……黒澤正美
取締役副社長兼CFO…寺東一郎	常勤監査役……清水壽幸
専務取締役兼上席執行役員…木村真琴	監査役……………中野豊士
専務取締役兼上席執行役員…諏訪恭一	監査役……………可児晋
常務取締役兼上席執行役員…梶原守	執行役員…………渡辺隆男
常務取締役兼上席執行役員…宮内範夫	執行役員…………平井秀始
常務取締役兼上席執行役員…富野直樹	執行役員…………熊澤政美
常務取締役兼上席執行役員…牛田一雄	執行役員…………後藤哲朗
常務取締役兼上席執行役員…河合芳道	執行役員…………森下耕二
取締役……………河野俊二	執行役員…………岩崎純
取締役……………金子亮太郎	執行役員…………正井俊之
取締役兼執行役員…森英敏	執行役員…………橋爪規夫
取締役兼執行役員…市原裕	執行役員…………岡本恭幸
	執行役員…………馬立稔和

■事業所

本社…〒100-8331 東京都千代田区丸の内3-2-3(富士ビル)  
TEL.03-3214-5311(案内台)

大井製作所…〒140-8601 東京都品川区西大井1-6-3

横浜製作所…〒244-8533 横浜市栄区長尾台町471

相模原製作所…〒228-0828 相模原市麻溝台1-10-1

熊谷製作所…〒360-8559 熊谷市大字御稜威ヶ原201-9

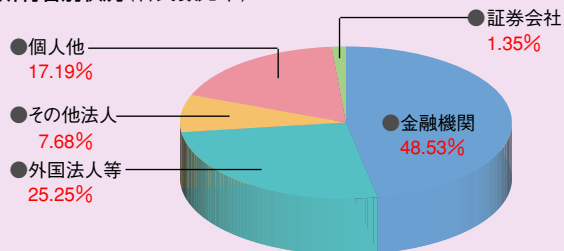
水戸製作所…〒310-0843 水戸市元石川町276-6

## 株式の状況 (平成17年3月31日現在)

■発行済株式総数… 369,945,332株

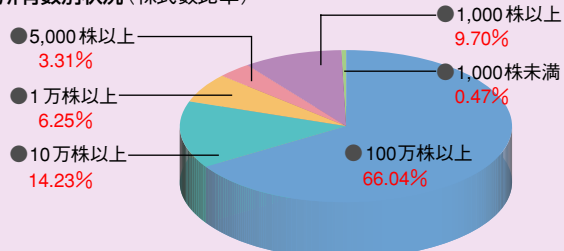
■株主数…………… 32,148名

### 所有者別状況 (株式数比率)



(小数点以下第3位を四捨五入)

### 所有数別状況 (株式数比率)



(小数点以下第3位を四捨五入)

## ■大株主

(株主名)	(持株数)	(持株比率)
日本マスタートラスト信託 銀行株式会社(信託口)	26,895千株	7.3%
明治安田生命保険相互会社	20,565千株	5.6%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	14,983千株	4.1%
ザチュースマンハットンバンクエヌエイロンドン	14,877千株	4.0%
株式会社東京三菱銀行	12,297千株	3.3%
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	10,421千株	2.8%
東京海上日動火災保険株式会社	10,067千株	2.7%
三菱信託銀行株式会社	9,134千株	2.5%
日本生命保険相互会社	8,769千株	2.4%
株式会社常陽銀行	6,801千株	1.8%

本事業報告書は、注記のない限り、次により記載しております。

- 記載金額及び株式数は、表示単位未満の端数を切捨て
- 比率は、小数点以下第2位を四捨五入

## 株主メモ

■決算期 3月31日

■定時株主総会 6月

■株主確定日  
株主総会権利行使及び利益配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

■公告掲載新聞  
東京都において発行する日本経済新聞  
なお、決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書を当社のホームページにて開示しております。  
<http://www.nikon.co.jp/main/jpn/profile/ir/index.htm>

■名義書換代理人事務取扱場所  
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号  
三菱信託銀行株式会社 証券代行部  
同連絡先(郵便物送付・電話照会)  
〒171-8508 東京都豊島区西池袋1丁目7番7号  
三菱信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-707-696(フリーダイヤル)

同取次所  
三菱信託銀行株式会社 全国各支店

■1単元の株式の数 1,000株

■単元未満株式の買取及び買増請求取扱について  
上記名義書換代理人がお取り扱いします。  
なお、株券を証券保管振替機構に預託されている場合には、お取引の証券会社にお申し出下さい。

## お知らせ

■当社では、ホームページ (<http://www.nikon.co.jp/>) において、連結決算関連資料や会社概況、製品関連ニュースなどの情報を幅広く掲載しておりますので、ご活用下さい。

■住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取及び買増請求に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人の24時間自動応答フリーダイヤル 0120-864-490 で承っておりますので、ご利用下さい。



株式会社 **ニコン**

100-8331 東京都千代田区丸の内 3-2-3 富士ビル

<http://www.nikon.co.jp/>